

目次

「金額の程度が大きいことを表す」形容詞について
歌舞伎俳優・八代目坂東三津五郎のことは
帰還兵言説のなかの火野葦平「美しき地図」

長編人情噺時代の話法——円朝・燕枝・柳椽——
「影絵」のような存在へ——織田作之助「影絵」論
「エクスタシー」の記憶——有島武郎「一房の葡萄」論——

書評
目黒将史著『薩琉軍記論——架空の琉球侵略物語はなぜ必要とされたのか』

Senri Sonoyama. *Poetyka i pragmatyka pieśni w dworskiej komunikacji hierarchij okresu Heian (794-1185)*. Wydawnictwo Uniwersytetu Jagiellońskiego, 2019. 322pp. (園山千里『平安時代の宮廷文学における和歌の詩法と実態(794年-1185年)』ヤギエロン大学出版社(ポーランド・クラクフ)、2019年、322ページ、原著ポーランド語)

新刊紹介
佐藤 功著 『教科書御用達小説の主人公はクズでヘタレばかり』
山田夏樹著 『ブックレット 近代文化研究叢書 14
「ドヤ街」から読む「あしたのジョー」』
石崎 等著 『有る程の菊 夏目漱石と大塚楠緒子』
佐藤秀明著 『三島由紀夫 悲劇への欲動』
染谷智幸編 『東アジア文化講座1
はじめに交流ありき 東アジアの文学と異文化交流』
小峯和明編 『東アジア文化講座3
東アジアに共有される文学世界—東アジアの文学圏』

渡部 裕太
泉 溪春
住友 直子
本橋 龍晃
齊藤 探花
大竹 明香

瀬戸 祐規
沼野 充義

蕭 惠文
山下 洋子
松本 和也
宮 信明
濱下 知里
石井 花奈

112

88

74 59 46 32 18 2

彙報・編集後記

立教大学日本文学

第一二六号

二〇二二年七月